

令和2年10月12日

未来への扉 14

校長 平野 雅仁

皆さん、おはようございます。

令和2年度も10月の半ばになり、後半に入ります。

1回目の通知表も皆さんの手元に届きました。これからの克服すべき点を点検・見直し、さらに努力をしていきましょう。

また、後期生徒総会も近づいてきています。今までの取組をもう一度、見直し、今できる事を工夫しながら、後期の取り組みも行っていきましょう。

さて、今日は、笑顔について話します。

いまだにコロナが収まった・・・という実感はないし、マスクや手指の消毒も欠かさない日々です。

そういった日々ですが、皆さんは笑顔になれていますか。笑っていますか。

笑顔になると口角や頬の筋肉があがり、それを私たちの脳は「楽しいことをしている」と感じるそうです。

「楽しいから笑うのではない。笑うから楽しいのだ。」という名言もあるように、昔から笑うことの価値が認められていると言えます。

でも、笑いも色々。人の失敗や間違いを見て思わず笑ってしまうことがありますね。これは周りを温かくする笑いではありません。

時には、嫌がらせやいじめにつながる行為になる可能性もあります。

年齢や性別を問わず、笑顔ってすごく素敵な表情だと思います。

皆さんには、ほがらかで周りを温かくする笑いによる笑顔をたくさん見せてほしい、と願っています。

マスクをしていると、口元が隠れているので、目の表情も大切です。

昔からある「目は口ほどにものを言う」という言葉が示すように、コミュニケーションにおいて目の表情も大切なポイントだと思います。

まだしばらくはwith コロナで、心の底から楽しめる気持ちにはなれませんが、こんな時こそ「笑うから楽しいのだ。」を実践し、温かい笑いがたくさん溢れることを期待しています。

これもよく耳にする詩だと思いますが、紹介して終わりたいと思います。

|              |              |
|--------------|--------------|
| ひとつの言葉でけんかして | ひとつの言葉で仲直り   |
| ひとつの言葉で頭が下がり | ひとつの言葉で心が痛む  |
| ひとつの言葉で楽しく笑い | ひとつの言葉で泣かされる |
| ひとつの言葉はそれぞれに | ひとつの心をもっている  |
| きれいな言葉はきれいな心 | 優しい言葉は優しい心   |
| ひとつの言葉を大切に   | ひとつの言葉を美しく   |

以上で話を終わります。

(全校朝礼より)